

札幌地域にて、ユーザーの趣味趣向に合わせた観光地を提示し、最適な旅程・移動交通手段を提案する観光型 MaaS「札 Navi」の実証を開始します。

～ 旅ナカにおけるユーザーの潜在ニーズを可視化し、アフターコロナを見据え、観光の
利便性向上・周遊促進を目指します ～

2020 年 1 月 27 日

札幌型観光 MaaS 推進官民協議会

一般社団法人さっぽろイノベーションラボ（本拠地：北海道札幌市、代表理事：石田 崇、
以下：さっぽろイノベーションラボ）が幹事社を務める札幌型観光 MaaS 推進官民協議会は
札幌市内の観光周遊の促進を目指すサービス「札 Navi」(<https://sapporo4mobility.com/>)の
実証事業を 2020 年 2 月 1 日より開始します。

SAPP_{RO}
for **Mobility**

本協議会が実施する札幌における移動に関
したプロジェクトの総称「SAPP_{RO}（サッポ
ロスマイル） for Mobility」ロゴ



本実証サービス「札 Navi」ロゴ
※商標申請中

本事業は国土交通省の「令和 2 年度日本版 MaaS 推進・支援事業」に選定されたもので、札幌市内における地下鉄、バスなどの公共交通機関と観光施設を連携し、市内の観光周遊促進を目指したものです。独自開発の Web アプリによって旅ナカにおけるユーザーの潜在ニーズを可視化し、最適な観光地のリストアップ、旅程およびルートを自動で作成し提案します。

■実証イメージ



「札幌 Navi」 (<https://sapporo4mobility.com/>) は、ユーザーの趣味趣向データから潜在ニーズを可視化し、札幌市内における観光情報とバスや地下鉄などの公共交通機関における情報を連携させ、最適な観光地・旅程をユーザーに提供することで、市内観光周遊の促進を目指します。



※画面は開発中のものです。

本実証事業ではユーザーから収集した旅の目的や予算、人数、可処分時間などの属性データを基に、ユーザーが今求めている観光地をレコメンドし、公共交通機関を使って複数の観光地を周遊する旅程を自動で作成・提案します。札幌市における、およそ 100 におよぶ観光施設をレコメンド対象としており、あらゆるユーザーにマッチした幅広い観光スタイルをご提案します。

また、外部サービスと連携し一部観光施設の入場チケットを購入することも可能です。タクシー配車機能により、その場でタクシーを呼ぶこともできます。

本サービスはアプリではありません。ご使用のスマートフォンからサービスサイトにアクセスいただくことで、誰でも無料で利用することが可能です。別途アプリをダウンロードしていただく必要はありません。

■実証実験の背景

札幌を訪れたことのある観光客に対して札幌市が実施したアンケートから、観光客は市内の移動に関して最も不満を持っていることがわかりました。特に、公共交通機関でアクセスできる場所が限られている、観光スポット同士の距離が離れている、乗継が不便でわかりにくい、といった課題が挙げられています。

札幌型観光 MaaS 推進官民協議会は「札幌 Navi」によって、市内観光周遊促進への貢献を目指しています。ユーザーが求めている観光施設情報と、公共交通機関を使った最適な移動方法・旅程を提案することで、市内観光における円滑な移動を実現させます。

■実証事業概要

- ・本事業推進体制

本実証事業では、以下の役割分担で「札幌 Navi」のサービス提供を行います。

組織名	主な役割
さっぽろイノベーションラボ	札幌型観光 MaaS 推進官民協議会の幹事社として、実証事業全体のとりまとめ、およびレコメンドロジック、経路計画のシステム開発
株式会社 JTB 北海道事業部	観光施設情報の収集・整備
平岸ハイヤー株式会社	タクシー配車システムの API 連携及び、タクシー運行
ドーコン株式会社	利用者アンケートの分析

- ・実証期間

-2020 年 2 月 1 日～2 月 21 日

- ・サービス URL

<https://sapporo4mobility.com/>

- ・提供するサービス内容

-観光型 MaaS の Web サービスを構築し、ユーザーの属性情報から各ユーザーにマッチした観光地をレコメンド、移動交通手段含めた旅程を提案するサービスを提供

-タクシー配車サービスを提供

■国土交通省の「令和2年度日本版 MaaS 推進・支援事業」について

公共交通とそれ以外の多様なサービスとをデータ連携により一体的に提供することで、地域が抱える様々な課題の解決に資する MaaS の実証実験に対し、日本版 MaaS 推進・支援事業（実証支援事業）は、新たなモビリティサービスである MaaS の新モデル構築及び全国への普及を図り、地域や観光地の移動手段の確保・充実や公共交通機関の維持・活性化だけでなく、地域課題の解決に寄与することを目的とした事業です。

■体験動画プラットフォームアプリ「Bratto」コラボキャンペーン

実証期間中、株式会社 mediba の体験動画プラットフォーム「Bratto」に、札 Navi を利用して1日のルートでお出かけ体験を撮影した動画に、ハッシュタグ「#札 Navi でぶらっと」をつけて、投稿頂いた方の中から3名に総額5万円分の JTB 旅行券をプレゼントいたします。

■株式会社 mediba について (<https://www.mediba.jp/>)

KDDI グループの一員として2000年に創業。au スマートパスを始め、au 関連サービス運営のほか、国内外にて幅広い分野でサービスを展開しています。「ヒトに“HAPPY”を」をミッションとし、心豊かに暮らせる社会の実現に取り組んでいきます。

■Bratto について

— 言語化できない“わくわく”を動画で感覚的に探せる —

Bratto は、共感できる、新たな旅や体験と出会う動画サービスです。ガイドブックや Web サイトを通じて得られるような言語化できる情報だけではなく、「自然の中で何かわくわくすることがしたい」や「友達同士で何か盛り上がることがしたい」など、あなたの“なんとなく”な想像を投稿動画から感覚的に探し出し、可視化することでユーザーの「やることのない休日を楽しみな休日に」することを応援していきます。

iOS : <https://apps.apple.com/jp/app/id1502944100>

■札幌型観光 MaaS 推進官民協議会について

札幌市における観光型 MaaS の実現を目指し、さっぽろイノベーションラボを主体とする構成員で組成した協議会です（構成員詳細は別紙参照）。

<本件に関するお問い合わせ>

札幌型観光 MaaS 推進官民協議会事務局 一般社団法人さっぽろイノベーションラボ

担当：石田、牟田

TEL : 011-596-7974 Email : info@sapporo4mobility.com

以上

<別紙>

札幌型観光 MaaS 推進官民協議会構成メンバー（順不同）

- ・一社団法人さっぽろイノベーションラボ（幹事社）
- ・株式会社 HAJ エンパワーメント
- ・株式会社 JTB 北海道事業部
- ・平岸ハイヤー株式会社
- ・札幌市
- ・一般社団法人さっぽろ産業振興財団
- ・札幌 AI ラボ
- ・札幌市立大学
- ・札幌総合情報センター株式会社
- ・株式会社ドーコン
- ・一般社団法人北海道開発技術センター